

新たな「部落地名総鑑」を腹の底から糾弾する。
差別者・皇取ループ・赤現舎（宮部龍彦とスタッフ
及び支持者）を断固許さない。

2016年10月28日

部落解放同盟全国連合会
福岡県連準備会。

1. 皇取ループ・赤現舎は、インターネット上で今年2月、自身のホームページで「復刻・全国部落調査 部落地名総鑑の原典なる書籍の発行・販売」を予告した。それを受けた「アマゾンが予約注文を開始する」と予告し、「発行・販売は4月1日」とさらに予告した。あわせて、書籍とは別途に、「同和Wiki」と名乗るサイトをネット上に開設し、「部落地名総鑑」がいつでも誰でも閲覧できる状態にした。
- 2 「部落地名総鑑」は怒りなしに読むことのできない内容である。全国536ヵ所以上の戸数・人口・多い苗字・主な職業・生活状態を「中、下」にわけて列記している。直題はさらに、部落解放同盟や全国連の中央役員の名簿・電話番号までが記載されているのだ。
- 3 「皇取ループ」とは何かについて、全国連中央本部の糾弾状は、「皇取ループ」とは、ホームページによると「とある皇取県東部出身者」「信州大学工学部卒」で、現在 神奈川県座間市に住み、名前は宮部龍彦と自己紹介している。またネット上でのやりとりを見ると「宮部は正真正銘の部落民」を語り、「部落解放協議会」を自称し、「個人の同和マニア」「電子雑誌編集長」「趣味で同和を研究」などと、ほざいている。赤現舎とは皇取ループがつくった、電子出版の任意団体である。

この度の差別事件についても、意図は第1に「同和はタバーと思
い込んでいる人をおちくするため」、第2に「40年前の地名総
鑑の時は、解同にみんな頭を下げてしまい、解同の思うままにな
った。それを今回破るため」と認めている。つまり、100%「確信
犯」だと自認しているのだ。そればかりではない、「40年前きく
つかえりため」という、極悪の政治的で差別主義的意図をもって、
極悪な差別行為に及んだと自ら暴露している。

4、 「部落地名総鑑」とは、戸籍を根拠として出自の在在を問題と
する実に非科学的で絶対に許されざる、希代にして前代未聞の人
権蹂躪である。それは、部落大衆の存在を人間として認めず、
人間性を蹂躪し、虫ケラのように抹殺しようとしていること。
総じて、部落大衆の人権と生存権を否定し、商行為に利用してい
ること。そのことによって部落差別を拡大し、社会に差別をまき
散らし、再生夢しているだけにとどまらない「部落民への人間狩
り」にも等しい暴行なのだ。

5、 宮部龍彦よ！君も知っているだろう。ナチス・ヒトラーは、ユ
ダヤ人を使い密告させ、同じ民族を「ユダヤ人狩り」の対象とし
た。それだけでなく「ユダヤ人の血はケガしている」と強制収容
所送りにして、最後は毒ガスを使用して大量虐殺を公然とおこな
った。

部落民の宮部は同じ部落のきょうだいを「売る」ことにかけて、
そしてまた「部落民狩り」という点でも、ヒトラーにも似た同じ
手口をもちいて、ファナリストが犯した犯罪と同じ悪業に手を染め
ているのだ。

そうだ、宮部龍彦は行動派右翼であり、ファナリストであり、従
って社会から徹底的に告発、弾劾されて然るべき人物である。

宮部龍彦よ、われわれは直接おむき、実力と弾力をたたきつけたい激しい怒りの気持ちにかられている。全国から兄弟姉妹を結集させ、直接的な実力と弾力による怒りを叩きつけたいのだ。
これが何をしていたのか！わかっているのか！
われわれはまた、憲法のもとで無業に対する名誉毀損罪や告発・告訴などの法的救済措置が生まれている以上、それらをも駆使して法的制裁を実行するであろう。

6. ここで九冊で、かつて起った前代未聞というべき差別事件を明らかにしておきたい。われわれの後輩にあたる一人のまゝだいが結婚したあとにおこった鮮やかな部落差別の事実である。二人の間には愛の結晶として子供が生まれ、女子であった。ところが子供の誕生の直後に重大な出来事があった。一般地区出身の彼女が、彼には秘密にして子供の体内の血液を、別のと金で取りかえたというものだ。「部落民の血によって子どもが作れる」と誤った恐るべき思想を実行したのだ。怒りに耐えないだけでなく、「身の毛がよだつ」という言い方があるが、それは、われわれの身におきたことである。

7. 宮部龍彦のやっていることはなにか。「部落地名録鑑」とは、前にもふれたように、全国の市町村の被差別部落の地名や各世帯と姓名、家族構成や生活実態に至るまで暴き、社会に晒して、これらの情報をインターネットや書籍として販売する、部落差別を商行為に使っているのだ。まさに悪逆非道な暴挙である。つまり部落差別を血や皮のないうる行為として、悪用しているのだ。

考えても見よ。この悲劇が結婚という新しい人生を考案している若者に降りかかっている、日々の現実なのだ。それは、同じ部落民が本来ならきょうだいと呼ぶべき、われわれ部落民

の人間性を冒瀆し、侮辱する人間として、命のかぎりの最も卑劣な行為をしているのだ。まさしく部落差別を悪魔の所業の武器として使っているからである。戸籍を根拠に部落の存在を統給や防衛の妨げやユスリ、タカリに使うなど、悪らつこの上ない極悪な部落差別と断言できるを得ない。

8. 身内や自分の子どもは例外と思っている宮部常彦君！君がやっていることとは一体ぬにか！このことだけは言わすにはおれぬ。君のためにも言っておかねばならぬ。君がわん水わん水と同じ部落民であるならば、なおのこと、言っておかねばならぬ。やっていることは同じきょうだいを警察収力や資本主義の悪徳業者に売っていることを意味するのだ。この犯罪性のもつ意味は決して軽くはない。

きょうだいを晒羞にし、差別することを知ってても、差別からの解放の道もいや、闘いと一言半句も語れない無知蒙昧な専屈者、思想的貧困者のやることだ。君はひとかけらの人間的感性も、とち合せていないのか。

94年前、部落民を差別してあたり前の社会に、「部落民自身の行動による経済の解放」と宣言して創立された全国水平社は、その宣言で「卑屈なる言葉と怯懦なる行為によって、祖先を辱め、人間を冒瀆してはならぬ」と、宮部よ、君のような人間を戒めているのだ。

この新たな「部落地名統鑑」とのたにたかいは、狭山再審争いをはけめとして、全国各地のあらゆる差別事件の頂点に位置づけられ、差別糾弾陣としてたにたかわれるだろう。そして、われわれはこの差別行為を怒りと憤りをもつ、部落のきょうだい、労働者、農民との共同闘争として闘い、宮部常彦、君が人間としていぬ底から謝罪し、悪徳商法による発行やネット上での差別のいづみきを中止するまで闘いぬく。極悪のファシスト、宮部とそのグループを絶対に許さぬ。たにたかに島取ルーフ、ホリ舎を解散せよ！

鳥取ループ・示現舎の部落差別と敵対を糾弾する

2010 年 10 月 8 日

部落解放同盟全国連合会 福岡・天神町支部

鳥取ループ・示現舎は「全国部落調査－復刻版」などの出版やネットへの掲載・拡散などの行為は、部落史研究で「学術目的」、さらには部落差別をなくすためという。

では、部落問題の「研究」は何のために行われるのか？それは一言でいうと部落を解放するため、それだけのためにのみ必要とされ許されることである。

確かに、だれもが部落とは何か、差別とは何かについて思考することは自由であるし、むしろ必要なことであると考ええる。だがしかし、部落の地名やそこに住む人の名字を公表すること、しかもそのことにより金銭的利益を得ようとする行為が学術的であったり、研究であったり、部落差別をなくすための行為と言えるのであろうか？

かつて、かの悪名高い「部落地名総監」は、特定の地域や氏名をさらし、部落差別を宣伝・扇動し金儲けをしていた。大企業や学校、行政、警察、個人が驚く数で購入し部落差別に手を染めた。その結果、我々部落の兄弟姉妹が、就職、進学、結婚などの人生の岐路で、この社会から排除され、人間の尊厳を踏みにじられ、人間として幸せに生きる権利を奪われたのである。そのためにどれだけの血と涙が流され、命までもが奪われたことか！ 君たちはこの事実を知ってやっているのか？それを知って何も感じない人間なのか？そうであるならば、それは「差別主義者」である！ ユダヤ人を虐殺したナチス・ヒトラーと同じである。鳥取ループ・示現舎や宮部らが行っていることとその結果は、この「地名総監事件」と全く同じことである。事ここに至って、君らの主張はウソ・デタラメであり、部落解放運動への冒涇・敵対以外なにものでもない！

そうであるならば、否、そうであるが故、鳥取ループ・示現舎が行った「復刻版」出版や解放同盟から出された裁判資料のオークション出展あるいはネットへの掲載（ミラー化）そのほかこの間の全国連の糾弾への敵対行為などはそのすべてが部落差別行為であり、部落解放とは1ミリも相容れない。我が天神町支部の矜持とその怒りの総意で徹底糾弾する。

鳥取ループ・示現舎および宮部龍彦は、これまで手を染めた部落差別を非人間的行為として地に頭をこすりつけて自己批判せよ！

直ちに鳥取ループ・示現舎を解散し、ネット社会から撤退せよ！

全国 300 万の部落のきょうだいに謝罪せよ！

間中しげ子

宮部の出した本に、私の父の名前が載っていた。父の亡くなった日付まで描かれていて私は本当にショックだった。私は宮部に会って、彼のやっていることを糾したい。

松本節子

地名とか名前とかを公表されることは、子や孫に影響する。ネットで多くの若者がそれを見る。それがいじめにもつながる。子や孫の将来を考えると心配だし、絶対許されることではない。

婦人で、断固、署名などを集めて突きつけたい。泣き寝入りしたくない。宮部は逃げるだろうが、みんなで話し合って追い込みたい。

石川さんも高齢になるので、なるだけ早く、元気なうちに無罪を勝ち取りたい。墓参りにも行かしてあげたい。実を軽くしてあげたい。引き続き高裁・高検への要請行動を闘っていきたい。

井橋真理子

宮部は部落の地区名をさらしている。それがどんなことなのか、どんな痛みを伴うものなのか。それは、差別に苦しむ者にしか分からない。

私たちは、婦人部の研修で様々な地域に行きます。その際、地域の観光地を回ることがあります。そんな時いつも感じるがあります。数年前、栃木県か福島県の味噌工場に見学に行ったときも、工場の案内の人は、まず「みなさんはどこから見えましたか？」とききました。どこへ行っても、かならず毎回聞かれる言葉です。そして、かならず、みんな一瞬凍り付きます。相手に悪意はありません。挨拶代わりです。にもかかわらずみんな緊張します。だいたい当たり障りなく「いばらきです」とこたえますが、ときどき「茨城のどこですか？」なんて聞かれることがあります。「古河」とか「守谷」とか答えて終わりですが、たまに「近所に親戚がいる」なんて話しがされることがあります。そうすると又緊張が走ります。「どんな団体さんですか？」と聞かれるときも、大体はぐらかして答えてしまいます。遠い関西や中四で「地元」を聞かれたなら、茨城としてはなんでもないのでしょうが、近県では緊張してしまいます。そして、それこそが差別だと思います。どこへ行っても差別はついて回ります。差別と闘おうと決意した私たちでもそれは変わりません。ましてや「寝た子」の人たちは、つらいつらい日々だと思います。差別の中必死で生きている私たちの思いは宮部にはわからないだろうし、わかろうともしないと思います。しかし宮部のやっていることは、私たちの心臓をきりで突き刺している行為なのです。

話を聞いて3名分書きました。よろしくお願いします。

宮部・鳥取ループ・示現舎の新たな「部落地名総監」を徹底糾弾する

< 糾弾状 >

部落解放同盟全国連合会あさくら支部

部落を公にさらし、部落差別の拡散・拡大を行い差別を扇動する、宮部・鳥取ループ・示現舎を徹底糾弾する。全国のきょうだいに對し、刃を突きつけた行為を絶対に許さない追放・一掃するまで闘う事を宣言する。

宮部・鳥取ループ・示現舎の連中よ、己の犯した罪をただちに認め、悔い改め、全国のきょうだいに謝罪せよ！自己批判と部落解放の解決に向けて、闘う人間として、変革することを強く要求する。屁理屈をこね、嘲り、居直り続ける態度を即刻やめよ！

宮部・鳥取ループ・示現舎の罪状は何か。2016年1月6日、「全国部落調査」復刻本の販売を予告するとともに、データを公開し、2月8日、アマゾンで予約販売を開始した。40年近く前「部落地名総監」として高額で販売された、あの憎むべき時代に回帰させたのである。それも日本は言うに及ばず、全世界にまで広がり続けるネットでの拡散という事態を創り出した。「部落問題に反するサイト」であることを承知の上で、「同和はタブーだ」と思い込んでいる人をおちょくる」目的で行っている。

次に、金儲けのためアマゾンに、原典の「全国部落調査」をコンパクトに大幅改定した「手軽に活用できるもの」として宣伝し、自由に販売しようとした。アマゾンによって、発禁処分になったとはいえ、ハゲタカのごとく、金の亡者としての本性をむき出しに、部落を食い物にしようとしたことである。

さらに、アマゾンからの発禁処分と裁判所からの販売中止の仮処分を受けた腹いせに、ハイエナのごとく極端に倫理観の弱い販売サイトヤフーに、「全国部落調査書」を出品し、オークションにかけ5万5千円で販売したことである。新自由主義者と同じく、金儲けのためなら“何でも有り”のおぞましい行為である。

部落の地名を明らかにしてきた物が、何に使われてきたのかを知っていながら、ITを使い水面下に澱む差別意識を浮かび上がらせる諸君らの行為は、まさに、差別のばら撒きそのものであり、断じて許されるものでない。

今でも、部落差別は解消するどころかますます激しさを増している。全国到る所で投書や落書き等の陰湿なものからヘイト集団による公然たる差別発言まで、とどまることを知らない状況である。また、石川さんは、今も国家権力によって、殺人犯の汚名を着せられたままである。

家を購入する時にそこが部落かどうかを行政に問い合わせする者、結婚相手が部落民かどうか知ろうとする者、就職でも同じことが繰り返されている。生活全般あらゆる場面で、

私たちへ襲いかかってくる。中でも結婚差別は、これまでも、部落民が死においやられた悲劇的結末をむかえている現実を直視するならば、諸君らがいかに殺人的行為をやっているか自覚すべきである。それとも、結婚に反対された事で死を選んだきょうだいの方がおかしいとでも言うのか。宮部よ、はっきり答えてみよ。

不当な差別によって、人生をねじまげられ、命さえ奪われてきたきょうだい達の、怒り、悔しさ、無念さが分かるか。我われは、その理不尽さゆえに、自らを明らかにし、人間としての誇りを持って闘っているのだ。差別に対して、徹底糾弾することは、人間の尊厳を取り戻していく崇高な闘いに他ならない。人をさげすみ、踏みつけ踏みにじる諸君らの行為は、まったく卑劣であり、極悪としか言いようがない。「部落解放協議会」などと、あたかも解放運動団体の仮面を被り、その実人民をだまし、差別行為を行うファシストである。絶対に許さない。大衆的糾弾闘争の力で全国のきょうだいと共に必ず一掃するまで闘う。

**宮部・鳥取ループ・示現舎は、極悪の差別行為を認め、
謝罪せよ！ネットの完全削除をただちに行え！**

鳥取ループ・示現舎

宮部龍彦様

三品 純様

部落差別を扇動する鳥取ループ・示現舎に対する糾弾状

鳥取ループ・示現舎宮部龍彦、三品純両氏に対して、インターネットと書籍を利用した部落差別の扇動行為について糾弾し、ただちに中止するよう申し入れる。ならびに「糾弾状」をインターネットに示して、面白がっていることも含めて弾劾する。

君たちは「部落をおちよくる」ことを公言し、インターネットで娯楽のように同和地区を示したり、「部落地名総鑑」の復刊にエネルギーをさき、当事者の抗議や糾弾をあざ笑い、おもしろがり、ビジネスとして展開することを宣言している。

そんなに被差別部落出身者や関係者を踏みつけにすることで名をはせたいのか。君たちのこれまでの人生に、他者との信頼をおびやかす、何があったのか…知るよしもないが、君たちはその技術や知識で、人生上のうっぶんや心の闇を晴らそうとしているようにうつる。しかし、その技術や知恵は、人の心を痛めつけることの目的ではなく、もっと人と人の関係を豊かにつなげていくことのために活用すべきではないか。

今やっていることは、被差別部落出身者の人生に、凶器を持って土足で入って来て、散々に切り付けておいて、痛みのにたうちまわる当事者に対して、何事もなかったかのように薄笑いしながら消えて行く、、、そして、その様子を世間にさらす。言論による「暴力行為」そのものである。

君たちは「部落差別は隠すから暴かれる」「部落差別の解消のためはじめて示したらいい」という大義名分をうたっている。一方で、「解消のため」といいながら、被差別部落に関する事件やエピソードなど、マイナスイメージの情報ばかりをことさらネットに示している。一部のマイナスの情報を繰り返し流し続けることにより、被差別部落＝「こわい」「危険」という偏見を植え付けようとしている。それによって私たちは記号として扱われる。実際には一般社会がそうであるように、老若男女、個性も様々、いろんな考え、感情を持った人がいるのに。君たちの「差別の解消のため」という美辞はまったくの詭弁である。これ以上、部落問題を舞台に選んで、うっぶん晴らしやビジネスチャンスとしてもてあそぶのはやめてほしい。

そもそも、部落出身者にとって、結婚、就職、周りとの交友関係や何げない普段の会話の中で、部落差別がまだ残っていることは、多くの出身者や周囲も日々肌で実感しているところである。スムーズにいていた話や関係が、部落出身を伝えるか伝えないかのところでとまってしまう。伝えることで相手の表情が固まる。関係が終わってしまう

こともある。もちろん長い解放運動の歴史や人権教育の充実の中で、昔に比べると理解者も増えたが、まだまだ君たちが認めるように、部落差別は生きている。部落出身をオープンにして互いを認め合える、そんな熟成した社会にはなっていない中で、当事者は常に神経をとがらせて日常生活を送っているのが現状である。この親友には部落出身と明かそうか…とか、職場の人は知っているかもしれないが、今はあえて言わないでおこう…など。どこまでを開示していくかはその人の人生にかかわる大きなできごとであり、当事者が決めることである！

もうひとつ、君たちのやっていることは、在日外国人に対するヘイトスピーチやデマ、社会的弱者に対するおちょくり、差別発言と構造は一緒で、人を差別することでうっぴんを発散し、人間の尊厳をふみにじってあざ笑う行為である。舞台は街頭ではなくコンピュータやマスメディアであり、静かなものの、その分活字として差別を広め、差別を固定化するような情報が未来にまで残り、刻まれる形となる。スマホ社会の中で、もし子どもたちの学校生活で、社会で、恋愛や結婚の場面で、どんどん差別的な情報が広まり、いじめにつながったら…。宮部、三品両氏は、その子どもに対してどう声をかけるのか。どう責任をとるのか。「差別解消のため」「ビジネスチャンス」と言ってあざ笑い続けるのか。

人の命、子どもの命に直結する問題である。

鳥取ループ・示現舎はインターネットや書籍を媒体とした卑劣な差別行為、言論による暴力行為をただちにやめ、即時解散するよう申し入れる。

2016年10月22日

部落解放同盟全国連合会

山口県下の同盟員及び有志一同

5-31

〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2-~~1~~

部落解放同盟全国連合会

TEL 06-6787-3018



214-0034

神奈川県川崎市多摩区三田

4丁目1-11-5号

示現舎合同会社 様